

だいこん通信

NO.4

2019年9月

やっと会えましたー・・・

愛しの方に・・・！？

8月のお盆の時に、ニューヨークから一時帰国なさった宮井さんにお会いすることができました。公演に向けて、心配なことや、現在の私たちの取り組み状況など、お話しさせて頂きました。もちろん「だいこん通信」も渡しました。

エッ？宮井さんて？？？ という声が聞こえてきそうですが・・・

通信1で紹介したリサさん、英語クラブの講師の太田先生と同じく、ニューヨーク公演に向けて、劇団「すずしろ」を応援し、支えてくださっている方なんです。

前回のニューヨーク公演では、公演のコーディネーターとして、舞台のすべてを引き受けて下さいました。劇場の契約・舞台スタッフ集め・公演の宣伝・チラシやプログラムの作成・上演後のレセプション・打ち上げ・一日ニューヨーク観光に至るまで、すべてを宮井さんが段取りをしてく下さいました。

宮井さんなしでは、前回のニューヨーク公演の成功はあり得なかった。といっても過言ではありません。

そして、今回のニューヨーク公演の相談をしたときに「やりましょう」と力強く言ってもらったことが何よりの力となっているのです。

しかしながら、9年もたっているのです、私たちをはじめ、宮井さんを取り巻く環境も変わっている事は確かです。演目の関係上、前回よりも広い劇場が必要ですし、大道具・小道具の数も多いし、何よりも経済的な負担も大きくなるし、課題は山積みです。でも、お会いして、課題を乗り越えていく新たな力を与えていただきました。そして、公演の実施時期は、2020年10月下旬から11月上旬になる予定です。



劇団「すずしろ」のホームページにアクセスしてください。アドレスは
<http://suzushiro-minoh.com>

劇団「すずしろ」の活動は、YouTube でもご覧頂けます。『劇団「すずしろ」ちゃんねる』で検索してください。チャンネル登録をお願いします

またまた嬉しいお便りが ♡ ♡ ♡ ♡

劇団の仲間だった「澤治」さんの奥様にお便りを書きいただきました。一昨年 9 月に病気が発覚し、休団されましたが、元気になって、ニューヨークと一緒にいくことを目指して闘病生活を送っておられました。昨年 5 月に亡くなられるまで、奥様とご一緒に公演も見に来てくださいました。澤さんは、今回の演目『葉ごろも』の京都公演では、大黒さんの役をなさっていました。あの味のある、こころにひびく演技が思い出されます。ニューヨークに行けないのは、本当に残念ですが、奥様と共に、澤さんもきっと、私たちを見守ってくれていると思います。

私たちは、ニューヨーク公演成功に向けて頑張ります。

最初のブロードウェイ公演の NHK 放映を見て興味を持ち、舞台を拝見するようになったのが劇団「すずしろ」との出会い 現在にいたっております。

今回 何か劇団にメッセージをと頂き困惑していたのですが、いつもアンケートを出しそびれて帰ってきてしまっていたので、ちょっと思い出して書かせて頂きます。

お芝居の内容にはいつも感心ばかりです。

日常ありそうな、身近に起こりそうな事をどう舞台に仕上げるのかなあと最初思うのですが、途中からひきこまれ、一緒に笑ったり悩んだり、演出の先生の指導、団員の方の演技によるところが大ですが本当に楽しませて頂いています。

又、お芝居の途中で間が空いてしまったり、せりふがかぶったり、どきどきして見ているのですが、“あわてず騒がず” “演技力で進行” “ほっと安心” も観客と一体感があって 好きな空間です。

私がいつもワクワクして固唾をのんで見ているのはフィナーレの場面です。

全員で舞台あいさつ、仲間が一丸となってやり遂げた満足感で少し笑みがこぼれるのですが、そこへ倉田先生の講評、一瞬神妙な表情、その後講評が終わって全員で「ありがとうございました」この時のやった感あふれる笑顔、喜び、満足気な表情、いつも引き込まれ精一杯拍手を送らせて頂いています。

この後のロビーでのウキウキとした華やかな雰囲気 家族的な仲間の集まり、幸福感あふれる空間で、私もいつもお裾分けを頂き、にこにこ気分ひたっております。

この様なところですが、結論は一つ 劇団「すずしろ」の舞台は、見る人に、笑い顔、やる気、やさしさを与えてくれるサプリメントの役割を果たしている貴重な舞台ずっと続けて頂きたいです。

来年のニューヨーク公演 応援しております。

澤 嘉子